

2007年メモリアルデー特別集会の標語

わたしたちは神のエコノミーの真理の中を歩き、主の回復を認識し、
死と分裂から遠く離れなければなりません。

わたしたちは現在の真理を認識し、真理の絶対性を維持し、
真理で構成されて、召会を真理の柱また基礎とする必要があります。

一の立場とは、わたしたちの存在に適用される、
手順を経て究極的に完成された三一の神であり、一の本質は命と光です。

わたしたちは主のあわれみを受けて彼の勝利者となり、新しい復興をもたらして、
主の現在の回復の中で時代を転換させなければなりません。
これは神聖な啓示の最高峰に到達することにより、神・人の生活をするにより、
バイタルグループの中で神にしたがって人を牧養して、
キリストのからだを建造することによります

主題：主の回復における現在の必要を顧みる

メッセージ 1

神のエコノミーの真理の中を歩き、主の回復を認識し、死と分裂から遠く離れる

聖書：使徒 26:16-19. I テモテ 1:3-6. 6:3-4. II コリント 11:2-3. ローマ 16:17. II テモテ 4:22

I. わたしたちは神のエコノミー、神のエコノミーの的、神のエコノミーの目標の天的なビジョンの真理の中を歩かなければなりません。このビジョンはわたしたちの中で日ごとに新しくされて、わたしたちのすべての生活、働き、活動を支配するビジョンとならなければなりません——箴 29:18 前半. 使徒 26:16-19. I ヨハネ 1:7. III ヨハネ 3-4 節：

- A. 神のエコノミーとは彼のご計画であり、ご自身を彼の選ばれ、あらかじめ定められ、贖われた人の中に、彼らの命、命の供給、すべてとして分与して、キリストの有機的なからだを生み出し、構成し、建造することです——I テモテ 1:3-6. 6:3-4. II コリント 11:2-3. テトス 1:9. コロサイ 2:19。
- B. 神のエコノミーの的、神のエコノミーの戦略的で中心的な点は、わたしたちの霊、すなわちミングリングされた霊の中の、その霊としての内住する主観的なキリストです——II コリント 3:17. II テモテ 4:22. ローマ 8:16. I コリント 6:17：
 - 1. わたしたちは、わたしたちの人の霊の中のすべてを含む神聖な霊の中で減少させられ、ゼロにさえされて、神聖なエコノミーの的を失うことから守られなければなりません——I テモテ 1:6. マラキ 2:15-16. ローマ 1:9. 8:4, 6. ガラテヤ 5:25. ピリピ 3:3. II コリント 2:13。
 - 2. 神の当初の意図の「青写真」において、人は全宇宙の中心であり、人の中心は彼の霊です——創 2:7. 箴 20:27：
 - a. 天は地のためであり、地は人のためであり、人は神によって霊のあるものに創造されました。それは人が神に触れ、神を受け入れ、神を内容とし、神を礼拝し、神を生き、神のために神の定められた御旨を完成し、神を表現し、神と一になるためです——ゼカリヤ 12:1. ヨハネ 4:24。
 - b. 神が霊でなく、わたしたちが霊を持って神に触れ、神と一になることがないなら、宇宙全体は空虚であり、わたしたちは無です——伝 1:2. 3:11. ヨブ 32:8. 参照、ローマ 9:21, 23. II コリント 4:7。
 - 3. わたしたちが霊の中に生きて霊を訓練するとき、命を与える霊としてのキリストは、わたしたちのすべてとなることが出来ます。魂の中で生きることは、反キリストの原則の中で生きることです——ゼカリヤ 4:6. 12:1. I コリント 15:45 後半. 6:17. I ヨハネ 2:18-19。
 - 4. 主の回復は、わたしたちの霊の中の一を回復することです。霊の中にいることは、エルサレム、すなわち単純さと一の場合にありますが、思いの中にあること

は、バビロン、すなわち混乱と分裂の場所にいることです——ヨハネ 4:24. エペソ 2:22. ローマ 1:9. II テモテ 1:6-7。

- わたしたちの霊は恵みの「国」であり、一人の新しい人のために種族を飲み尽くします。わたしたちの思いは争いの「国」です。わたしたちの霊の中のその霊である主を享受することは、恵みをわたしたちと共に持つことです。これが失われるとき、召会の墮落があります——4:22. ガラテヤ 6:18. 5:15. コロサイ 3:10-11。

C. 神の永遠のエコノミーの目標は、キリストの有機的なからだの実際であり、新エルサレムにおいて究極的に完成します——エペソ 1:22-23. 啓 21:2-3, 9-10：

- 地方召会がないなら、キリストのからだの実際的な表現はなく、キリストのからだの実際はあり得ません——1:10-13. 2:7。
- 神の永遠のエコノミーはキリストのからだを得ることです。これ以外のどの働きも、神のエコノミーの中心路線にはありません——エペソ 4:1-6, 11-16。
- わたしたちは使徒パウロの足跡に従って、すべての聖徒を、キリストのからだ全体のブレンディングの生活にもたらさなければなりません——I コリント 12:24. ローマ 16:1-20。
- この時代における主の回復のために、わたしたちは主と協力して勝利者、すなわち、今日のエルサレム（召会生活）における今日のシオンとなり、キリストのからだを建造して、新エルサレムを究極的に完成しなければなりません——啓 3:21-22. 14:1-5. 士 5:15-16, 31。

D. 神のエコノミーの唯一の健康な教え、使徒たちの教えと異なる教えは、わたしたちの命またすべてとしての主イエス・キリストご自身の尊いパーソンを真に評価し、愛し、享受することから、わたしたちを引き離します——I テモテ 1:3-4. 使徒 2:42. II コリント 11:2-3。

E. 今日わたしたちが同じ心・思いにすることができるのは、ただ一つのビジョン、すなわち、神の永遠のエコノミーのビジョンを持っているからです——使徒 1:14. I コリント 1:9-10. エレミヤ 32:39。

II. 神のエコノミーは使徒たちを通して明らかに示されましたが、信徒たちは神のエコノミーの正しい理解を失ったので、主によって回復される必要があります：

- 「回復」と「エコノミー」という言葉は、二つの異なる観点から見られる一つの事を指しています。神にとってはエコノミーの事柄であり、わたしたちにとっては回復の事柄です——I テモテ 1:4. エペソ 1:10. 3:9。
- 「回復」とは、初めに戻ることを意味します。わたしたちは初めに戻り、主の恵みを受けて神の当初の意図に、神が初めに定めたことに戻る必要があります——マタイ 19:8。
- 一つの有力で確実な原則は、神の民の大多数が神の定められた御旨を完成することに失敗するときはいつも、神が入って来て回復を持つということです。彼の回復は常に少数の者と共にあり、勝利者のレムナントと共にあって、大多数の者と共にあるではありません——列王下 22:8. エズラ 1:3-11. ネヘミヤ 2:11, 17. 啓 3:21. 18:4。
- わたしたちのビジョンは、現在の状況によって、また伝統的な実行によって支配されるべきではなく、神の回復の現在の進展にしたがって、聖書に啓示されている彼

の当初の意図と標準によって支配されるべきです：

1. 主の回復は、わたしたちの中心、実際、命、すべてとしてのキリストを回復することです——コロサイ 1:17 後半, 18 後半. 啓 2:4, 7, 17. 3:20. 詩 80:1, 15, 17-19.
 2. 主の回復は、キリストのからだの一を回復することです——ヨハネ 17:11, 21-23. エペソ 4:3-4 前半. 啓 1:11.
 3. 主の回復は、キリストのからだのすべての肢体の機能を回復することです——エペソ 4:15-16. I コリント 14:4 後半, 26, 31.
- E. わたしたちは主の回復の中で、神のエコノミーの明確なビジョンを持ち、このビジョンによって支配され、制御され、指図されなければなりません。なぜなら、わたしたちはここにおいて、主の回復の中で神のエコノミーを実行しているからです——使徒 26:18-19. 箴 29:18 前半。

Ⅲ. 主の回復を認識して神のエコノミーを完成するために、わたしたちは分裂と死から遠く離れなければなりません：

- A. わたしたちは死から遠く離れ、命としてのキリストによって飲み尽くされなければなりません。召会の中のすべてのことは、命の性質の中にあり、命の内容を持ち、命の流れと分け与えの中になければなりません——民 6:1-9. レビ 5:2. II コリント 5:4. ヨハネ 7:38. I ヨハネ 5:16 前半。
- B. わたしたちはどのような種類の分裂も拒絶し（I コリント 1:10）、どのような教えの風にも、どのような霊的死の拡散にも抵抗し（エペソ 4:14. II テモテ 2:16-17）、神のエコノミーの教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、彼らから離れ去らなければなりません（ローマ 16:17. テトス 3:10）。
- C. レビ記は、わたしたち神の祭司が対処する必要がある最初のことが、わたしたちの聞くことであることを啓示しています。わたしたちの行動（足）と働き（手）は、常にわたしたちの聞くことの指図の下にあります—— 8:23-24. 14:14-17：
1. もし聞くことに注意しないで、消極的な語りかけに耳を傾けるなら、わたしたちの行為と働きは、消極的な影響を受けます。
 2. どの召会でも消極的なことを聞くのをやめるなら、その召会はとても健康で生きています。最も弱く最も死んでいる召会は、批評、うわさ話、論争に満ちている召会です。
 3. わたしたちはしばしば汚れた事、不健康で容易に伝染する事を聞くので、キリストの血で耳を洗う必要があります。血の洗いの後、わたしたちはその霊の油塗りを享受します。
 4. 積極的に聞くことは、わたしたちを消極的に聞くことから救います。神の言葉を朝から晩まで聞いているなら、どのような消極的な語りかけも聞く耳を持たないでしょう——啓 2:7. ヨハネ 10:3-5, 16, 27. 雅 2:8, 14.
- D. キリストをわたしたちの穀物のささげ物として享受して、穀物のささげ物の召会生活を生きるためには、どのようなパン種（リーダーシップに対する野心）や蜜（天然の愛情）からも、きよめられなければなりません——レビ 2:11：
1. 野心と天然の愛情は並行します。野心のある人は、自分を助けて欲しいものを得させてくれる人をだれでも愛しますが、自分を妨げて、自分の野心を達成させな

い人をだれでも自分の敵と見なします——Ⅲヨハネ9節。

2. わたしたちはどの人のゆえにも、主の回復の道を取ったり、この道を離れたりしてはなりません。わたしたちは主の回復を認識する中で、神のエコノミーのビジョンに従っているのです——使徒 26:19. Ⅱテモテ 1:15. 2:1-15。
- E. 召会生活のために聖なる生活を生きるためには、接触するのがどういう人かに注意しなければなりません。レビ第 11 章で、すべての動物は異なる種類の人を表徴し、食べることは人との接触を表徴します——参照、使徒 10:9 後半-15, 27-29:
1. 食べることはわたしたちの外側のものと接触することであり、それをわたしたちの中に受け入れた結果、それは結局、わたしたちの内なる構成となります。わたしたちは接触するものは何であれ受け入れ、受け入れるものは何であれわたしたちを再構成し、わたしたちが今あるものから異なる人とならせます。
 2. 「欺かれてはなりません。『悪い交際は良い道徳を腐敗させる』」——Ⅰコリント 15:33。
 3. 「賢い者と共に歩む者は賢くなる。愚かな者の友は損失を受ける」——箴 13:20。
 4. 「また俗悪で、無益なおしゃべりを避けなさい。というのは、彼らはますます不敬虔へと陥っていき、また彼らの言は、えそのように蔓延するからです。その中に、ヒメナオとピレトがいます。彼らは真理に関して的からはずれてしまい……ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい」——Ⅱテモテ 2:16-18, 22。